

令和8年第7回 幸手市教育委員会定例会会議録						
招 集 期 日		令和8年7月21日（火）午前9時30分				
開 会 場 所		幸手市立権現堂川小学校 1階 さいかちサロン				
開会の日時・宣告者		令和8年7月21日（火）午前9時30分			山 西 実	
閉会の日時・宣告者		令和8年7月21日（火）午前11時40分			山 西 実	
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出席	教育委員	藤 沼 寛 次	出席
	職務代理者	会 田 研 司	出席	教育委員	古 沢 万 友 実	出席
	教育委員	高 島 勝 也	出席	教育委員	林 晴 実	出席
傍聴人：0人				書 記：朝見 佳晃・坂本 康太		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	仙 田 茂 雄				
	教育総務課長	大 竹 孝 典				
	学校教育課長	中 沢 朋 宏				
	社会教育課長	内 藤 雅 士				
	権現堂川小学校長	三ヶ尻 陽 子				

会 議 事 件 名	顛	末
開 会 午前 9 時 30 分 日程第 1 前回会議録の承認 日程第 2 協議事項 特色ある教育活動と 令和 9 年度を見据え た取組について	教育長 開会を宣する。 教育長 令和 8 年第 6 回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。 権現堂川小学校長 資料により説明する。 《質疑》 藤沼委員 権現堂小学校は児童数が少ないが、地域と連携してよい活動を行っていると感じた。地域の一員として、児童や教職員のためにやれることをやっていきたいと思っている。最近、ランドセルの数が減って寂しく感じていたが、来年がとても楽しみである。 高島委員 教育活動を進めていくうえで、児童と教職員の関係がとても重要だと思う。内閣府の国民生活に関する世論調査で「働く目的は何か」の設問に対し、1997 年当時の若者は、「お金を得るため」34%、「生きがいを見つけるため」33.1%、「社会の一員として、務めを果たすため」16.9%、「自分の才能や能力を発揮するため」12.7%という結果であった。これに対し 2025 年の調査では、「お金を得るため」63.5%、「生きがいを見つけるため」13.1%、「社会の一員として、務めを果たすため」10.7%、「自分の才能や能力を発揮するため」7.1%という結果であった。現在の 10 代や 20 代、30 代の Z 世代では、「お金を得るため」が 1997 年と比べて約 2 倍になっている。権現堂川小学校でも若い教職員が多くなっていると思われるが、若い教職員がどのように児童とかかわっているかについて、お伺いしたい。	

権現堂川小学校長

教職員の児童へのかかわり方は、根本的には今も昔も変わっていない。また、教材の開発や研究するという姿勢は、昔から変わらず今の若い世代にも見られている。変わったところで言うと、効率を求めるところかと思う。スクラップアンドビルドのどちらかという、スクラップをするという方に関心が高いと感じる。

高島委員

教職員の喜びは、児童・生徒との信頼関係であり、その積み重ねでやりがいを持てるのではないかと考える。教職員の方々には、多くの経験を積み重ねて、児童・生徒との信頼関係を築き、喜びを分かち合えるような学校づくりをしてほしい。

古沢委員

特色ある教育活動の取組を伺った。特に農業で作物を育てる取組が、地域学習の枠を超え、幸手市の未来を担っていく専門職を育てるような素晴らしい未来を感じた。また、令和9年度に向けての交流学習は、統合することに対して不安を感じる児童が中にはいるかと思うが、知っている人が増えることで、不安の解消につながると感じた。

権現堂川小学校長

そら豆やミニトマトを提供いただくなど、地域の方々から農業に触れる機会をいただき、ありがたいと思っている。

会田職務代理

紹介のあったまこもの馬づくりは、懐かしく感じた。昔は8月の夏休み中に七夕飾りをして、どこの家の軒先にも竹笹が飾られており、子どもの頃の楽しい思い出であるが、今は七夕飾りをしている家をほとんど見かけないくらい、なくなってしまった。こういった行事も学校で行わないと体験できないのではないかと思う。八代小学校、吉田小学校、権現堂川小学校ともに形が違っても、地域との連携や地域の教育力を引き入れた学校経営を行っているかと思われるが、今年度は3校の共同学習の機会を増やすと聞いたので、スムーズな流れを作り、新たな東小中学校へつなげてほしい。まこもの馬づくりなども含めて、東小中学校で新たな学校文化や伝統ができればよ

日程第 3 議案第 20 号 学校薬剤師の委嘱について 議案第 21 号 幸手市立小・中学校における学校運営協議会委員の委嘱について 専決報告第 19 号 会計年度任用職員の任免	いと期待している。 林委員 権現堂川小学校の歴史に圧倒された。「ネロハー」の絵本で残ることも嬉しく思う。また、今年度はラストイヤーということで、子ども達が主体的に取り組んでいることにも嬉しく感じている。教職員の方々の取組に感謝したい。 教育総務課長 資料により説明する。 《質疑》 質疑なし 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。 学校教育課長 資料により説明する。 《質疑》 藤沼委員 今回の委嘱は、やめた方がいての補充であるか。 学校教育課長 現在は、校長を含め 9 名ということで、人数的にも少ない部分もあり、校長へ幅広い視点ということで、打診をしていた。学校の経営方針も踏まえながら、声をかけていたところ、受けていただけたので、年度の途中ではあるが、学校経営に貴重な意見をいただけるため、追加することとした。 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。 学校教育課長 資料により説明する。 《質疑》 藤沼委員 スクールサポートスタッフについては、昨今の働き改革を見ると、仕事が増えてくると考える。予算にもよるが、1 人と言わず、もっと採用した方がよいのではないか。 学校教育課長 今回の採用については、前任者が辞めたことによる補
--	--

充となる。足りているのか足りていないのかについては、仕事量の全体を見ると、時期的なものはあるが、トータルで見ると足りている。働き方改革で仕事量が増える部分もあるが、教職員が行う仕事を担うことはできない部分もあり、その線引きを行うと、現状の人数で足りていると考えている。今後も、学校の声拾い上げながら、状況に応じて対応していきたい。

藤沼委員

デジタル化が進んでいるが、紙で残すものもあることから、スクールサポートスタッフの手を借りる部分もあると考えられる。ここ2・3年間は12名となっているが、今後増やしていく必要があると思っている。スクールサポートスタッフに任せられるものは任せて、教職員は授業に集中してもらえようような考え方をもってもらいたい。

高島委員

働き方改革でスクールサポートスタッフが必要なのだろうか。教職員にしかできない仕事は多くある。スクールサポートスタッフに任せられる仕事がどれくらいあるものかは、判断が難しい。本来は教職員を増やすことがよいと思うが、予算などもある。スクールサポートスタッフにできることとできないことを、各学校で見極めてもらえればよいと考える。仕事を効率的に行ってもらいたい。

会田職務代理

学校によっては日本語指導員が欲しいなど、学校によって抱えている事情が違おうと思う。東小中学校が開校すると極端に児童・生徒数が少ない学校が減ると思うが、児童・生徒数が少ない学校と多い学校では、求めているものが異なる。非常に難しいと思うが、各学校にスクールサポートスタッフを1人配置するなどではなく、学校の要望を聞きながら、配置をしてほしい。

林委員

前回の定例会で、外国籍の児童・生徒が125人で、そのうち日本語指導が必要な児童・生徒が39人と聞いている。今回の配置で日本語指導員が1名増加しているが、現在何人の日本語指導員がいるのか。また、日本語指導は、授業中に指導しているのか、別室で指導しているのか伺う。

学校教育課長

	現在、日本語指導員は県費が3名、市費が3名、合計6名の配置で指導を進めている。また、指導方法については、県費の職員が、別室で指導を行っており、市費の職員が、授業内に入り、児童・生徒のそばで指導を行っている。 林委員 学年の壁を越えて、月から金まで指導を行っているのか。 学校教育課長 毎日とはいかないため、1人が3校ほどを兼務している。対象校へ週1・2回伺い、1コマに対象児童・生徒を1・2名程度、別室で指導している。 林委員 日本語指導員は、日本語指導の資格を有しているのか。 学校教育課長 日本語指導員は、教員免許を持ち、外国籍の児童・生徒とのかかわりを重点的に持ちたいという方であり、外国語への知識を有した教職員を配置している。 高島委員 国が様々異なることから、全ての外国語を話せる方はいないので、日本語で日本語を教えるのが基本であると思う。大学でも、日本語を教育する講座があるが、全ての言語で話せないと指導できないとなると、指導が難しくなるため、日本語で教育を行っている。 《承認》 全員異議なく承認。
専決報告第20号 臨時的任用教職員の 内申	学校教育課長 資料により説明する。 《質疑》 質疑なし 《承認》 全員異議なく承認。
専決報告第21号 学校給食運営委員会 委員の委嘱	教育総務課長 資料により説明する。 《質疑》 古沢委員 今年から麦ごはんの提供機会が増えていると思う。麦ごはんは、食物繊維が取れ、栄養の良さがあることや児童・生徒のかむ力を鍛えられることなど、良い取組と感じている。麦ごはんは主食であり、給食の中心であるから、

日程第 4 行政報告 1 教育長報告 2 事務局からの 主要な報告	どういった目的や背景で導入されたのかを知ること、家庭での食への関心につながると考える。市内の米作りを学ぶ機会を大切にしているので、給食で麦ごはんを取り入れている目的について、児童・生徒や保護者に伝えることで、給食の充実につながるのではないかと感じた。また、アレルギーのある児童・生徒への配慮を含め、全ての保護者に対して、情報共有をすることで安心につながると思う。 教育総務課長 実態については、現状を確認してご報告する。令和 8 年度のお米については、幸手産のお米を学校給食会と市の生産者組合から半々で提供いただいている。より近い生産者から給食に提供ができるように手配しており、児童・生徒が地域の方がどのような経緯でお米を作っているのかを知ることができるようにすることで、食育につなげる取組を行っている。また、アレルギーを持つ児童・生徒については、学校の養護教諭や栄養士、管理職が保護者と情報共有しながら代替食を出すなどの打ち合わせを行っている。現在、麦ごはんへのアレルギーについての情報は入っていないが、必要に応じて学校で対応をしていると思われる。情報発信については、幸手市のホームページに学校給食の取組として、コンクールで受賞したことや自校式の給食での取組について案内をしている。今後は、アレルギーや新たな取組についても情報発信をして、保護者や児童・生徒が安心して給食を喫食できるようにしていきたい。 《承認》 全員異議なく承認。 教育長 1 各種教育長会議 2 講演等 教育総務課長 1 学校再編について 学校教育課長 1 幸手市内小学校宿泊学習・林間学校の予定
---	---

	2 7月後半から8月の予定 3 生成A I を活用した事業について 社会教育課長 1 東部地区人権教育実践報告会 2 令和8年度カヌー体験会 3 子ども大学さって 4 教職員合同研修会（幸手市・蓮田市・白岡市・宮代町合同） 社会教育課長（公民館） 1 利用状況 2 事業報告 3 今後の事業予定 社会教育課長（郷土資料館） 1 報告事項 2 今後の事業予定 社会教育課長（図書館） 1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位5冊） 5 電子：閲覧の多いコンテンツ（上位5コンテンツ） 社会教育課長（幸手市民文化体育館） 1 利用状況 2 自主事業 3 今後の自主事業 社会教育課長（幸手総合公園） 1 利用状況 2 自主事業 社会教育課長（B&G 海洋センター） 1 利用状況 2 自主事業 3 今後の自主事業 社会教育課長（神扇グラウンド） 1 利用状況 社会教育課長（武道館） 1 利用状況 2 自主事業 《質疑》
--	--

藤沼委員

林間学校などでバス会社を利用するうえで、安全性についてどのようなチェックを行っているのか。また、給食室の工事は、どのようなことを行ったのか。更に、西中学校の生成A I の活用についての授業は、非常に良いと考える。A I は使えないよりは、使える方がよいと考えるため、良い教育方法だと思う。

学校教育課長

バス会社については、旅行会社から見積り合わせを行い、契約を進めている。昨今、輸送関係での事故があることを踏まえて、きちんとチェックをするよう指示を出し、各校安全面に関して万全な体制で進めているところである。

教育総務課長

東中学校の給食室の工事内容だが、統合により児童分の食数は増えるが、機材については大幅に増やす予定はない。なお、床については、湿式から乾式に移行し、古い調理機器も入れ替える予定である。

藤沼委員

さくら小学校の教室でエアコンの効きが悪い教室があるとの話を聞いたが、把握しているか。

教育総務課長

学校から報告を受けている。エアコンに関しては、導入から13年間の契約となっており、毎年動かす前と後に点検を行っているが、点検項目に清掃が含まれていない。学校からの報告を受け、業者に調査してもらったところ、エアコン内部の清掃を行わないと改善されないのではないかと聞いている。しかしながら、清掃は高額であり、予算を計上していないことから、すぐには対応できずにいる。今後、財政課へ関係予算の計上について協議を進めていきたい。

高島委員

西中学校の生成A I の活用について、気を付けないといけないことがあると考える。児童・生徒と教職員の信頼関係をどのように結ぶかについては、A I やコンピュータはあくまでもツールである。ツールであることを忘れて、教職員が面接の指導を行わなくなってしまうと、教職員がいらなくなってしまう、本末転倒である。A I の活用

日程第 5 その他 1 次回以降の会議 日程	は大きな話題となるが、あくまでもツールであるということ ことを認識していない駄目である。A I を活用して A I で完結してしまうと、教育の本質から離れてしまうのでは ないかと考える。 藤沼委員 デジタルとアナログをともに活用することが、大事で あるのではないか。 林委員 子ども大学さつてについて、現時点での応募状況はい かがか。また、定員 10 名を超えた場合はどのようにする のか。 社会教育課長 4 名の応募があった。 古沢委員 日程が多岐にわたるので、参加が難しいのではないか。 社会教育課長 参加しやすい日程にしていきたいと考えている。 古沢委員 最近の夏は、外遊びができないため、子ども大学さつて のような講座があるとありがたいが、短期の募集となる と日程的に難しい。子どもが力をつけるとなると、ある程 度の期間があつて、講座と講座の間に調べられる時間がある のはありがたい。素晴らしい企画なので、講座の後に 子どもたちのプレゼンができるような大きな企画となると、 保護者も興味が沸くとともに、より子どもたちの身になる のではないか。 林委員 出席して終了証をいただけると、充実が持てるのは素 晴らしいことである。単発での参加の受け入れは可能で あるか。 社会教育課長 今の申し込み方法では、5 日間出席いただく形となる。 各委員の意見を調整した結果、次回以降の会議について、 次のとおり決定する。
---	---

	(1) 令和8年第8回幸手市教育委員会定例会 日時 令和8年8月18日(火) 午前9時30分 場所 幸手市立図書館 2階 視聴覚室 (2) 令和8年第10回幸手市教育委員会定例会 日時 令和8年10月20日(火) 午前9時15分 場所 八代小学校 1階 会議室 (3) 令和8年度第2回幸手市総合教育会議 日時 令和8年10月20日(火) 午前11時30分 場所 八代小学校 1階 会議室
2 次回の協議事項	教育総務課長 「幸手市立図書館の現状と課題」を議題とする。
3 その他	高島委員 講師を受け入れる際には、綿密な打ち合わせを行わないと、学習の効果が得られない。講師の方に訪問いただくことは、有意義ではあるが、受け身の学習ではなく、学校の受け入れ体制を整え、活かして行ってほしい。
閉 会 午前11時40分	教育長 閉会を宣す。

他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項	な し
	上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和8年8月18日 教 育 長 山 西 実 署名 署 名 委 員 藤 沼 寛 次